

札幌病院薬剤師会 実務実習アンケート結果報告

札幌病院薬剤師会 教育実習委員会

阿部 往好

◎アンケートについて

1) 対象施設

2019年度第2期、第3期の実習生を受け入れている札幌および札幌近郊の施設

2) アンケート内容(記入型式)

- ・実習中におきた問題点及び解決方法(解決方法は対処した場合のみ)
- ・実務実習についての疑問、改善点、要望などの意見

3) 回答率

- ・第2期: 66.7% (送付: 33施設 回答: 22施設⇒特になし14施設: 63.6%)
- ・第3期: 76.7% (送付: 43施設 回答: 33施設⇒特になし17施設: 51.5%)

2019 年度（第 3 期）薬学長期実務実習における問題点報告書

施設名 _____

1) 実習中に起きた問題及び解決方法（解決方法是对処した場合のみ記入してください。）

問題点	解決方法
	
	
	

2) 今回の実務実習において疑問に思ったこと、改善してほしいこと要望など御意見がありましたらお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

札幌病院薬剤師会 教育実習委員会
(FAX : 011-752-4231 札幌共立医院 薬剤部 阿部 往好 宛)

◎実務実習の問題点解決方法及び意見・要望

- ルーブリック評価について
- SBOsについて
- 代表的な8疾患について
- 面談、訪問について
- その他

・ルーブリック評価について

1) 実際に起きた問題及び解決方法

- ・施設担当教員と地区担当教員の説明に違いがあり混乱が生じた。

「最終評価をルーブリックで行ってください」
「ルーブリック評価が3になる必要があります」



実習スケジュールと内容の大幅な見直しを行った。特にルーブリック評価が「3」となるように監査を行う機会をもうけるようにした。

・ルーブリック評価について

2) 疑問に思ったこと、改善してほしいことなどの要望事項

- ・ルーブリック評価の評価方法が難しかった。実習の目的、各病院の横並びではない現状、まだまだ過渡期ではあるが議論していかなければならない。
- ・ルーブリック評価について、学生が自己評価する際にどの程度理解しているか疑問。評価の手引きについて又、自己評価の方法についてどのように大学では指導しているのでしょうか？

・SBOsについて

2) 実際に起きた問題及び解決方法

- ・施設担当教員と地区担当教員の説明に違いがあり混乱が生じた。

「SBOsは目安として使用してください」

「SBOsは全ての項目で達成してください」



毎週末、学生とSBOsの達成状況について確認することとした。

・SBOsについて

2) 疑問に思ったこと、改善してほしいことなどの要望事項

- ・SBOsの実施状況が確認しづらかった(調剤薬局及び病院)。
調剤・病院全体を通してどこまでチェックがついたか把握できるとわかりやすいと思った。
- ・支援システムのSBOs実施状況について、病院で実施すべきものがわかりにくいと感じた。フォーラムの時の資料は病院版と薬局版に分かれており、わかりやすかった。

・代表的な8疾患について

1) 実際に起きた問題及び解決方法

- ・代表的8疾患以外の疾患をもつ患者に対し、学習意欲・関心が低い。
また、代表8疾患についての基礎的な知識が無く、進めにくかった。



多様で複雑な患者や疾患に対する学習意識や重要性を説明した。
また、疾患の説明を実施してから問題点や考え方を実習した。

・代表的な8疾患について

2) 疑問に思ったこと、改善してほしいことなどの要望事項

- ・8疾患のカウント、方法・基準が施設毎に違いがあるようで、学生側に混乱が生じる可能性がある。(施設毎に方法・基準を教えてあげれば、問題にならないとも思います)
- ・8疾患の実習を求めるのであれば、それなりの準備をした方が実習をスムーズに進められると思う。

・面談、訪問について

2) 疑問に思ったこと、改善してほしいことなどの要望事項

- ・医療大学と科学大学で教員の初回訪問の時期や、実習報告書の扱いが異なる。
例えば実習生について直接事前に聞くことができるため北海道医療大学の初回訪問の時期を実習開始前～実習開始後1週間程度にするなど、できれば統一して欲しい。
- ・中間訪問の目的は実習の進捗確認という理解で良いか？
(旧カリキュラムでは評価表があったため目的が明確であった)

・その他

1) 実際に起きた問題及び解決方法

- ・注射薬調製の学習が不足している。陰圧操作を理解していない。



基本操作から指導した。しかし、事前説明に時間がかかること、学生がおそるおそる実施することから、実際の処方の体験をあまりさせてあげられなかった。

- ・院内のパソコンでは法人のセキュリティーの関係で実習スケジュールをアップロードできない。



自宅の個人のパソコンでアップロードした。

・その他

1)実際に起きた問題及び解決方法

～解決方法の回答なし～

・インフルエンザの予防接種について

- ・治療ガイドライン等を確認することになっているが、様々ガイドラインの改定されていく中、病院で準備できるものは一部しかない(全て用意はできない)。学生も本当のガイドラインがどのようなものか判っていなかった。担当教員は学生に持たせるといったが、持っていないかった。
- ・領域毎のSBOを確認する際、支援システムは平成25年度改定版SBOを実施入力してみるようになっていた。

・その他

2) 疑問に思ったこと、改善してほしいことなどの要望事項 1

・WEBシステムについて

1. 複数の学生を選択しても表示は1学生になる項目がある。
コメント入力などは複数名を同時に表示できると良い。
2. 登録したコメントが消えることがあった。
3. 概評に前記(保険薬局)薬剤部のコメントが入っている。
1期は空欄になっている。(未解決)

- ・ 1週間のグループ実習ではあるが、調剤薬局での実習時にトラブルがあったとの情報を大学の事前訪問で情報を頂けた事は非常に助かった。学生の情報共有という点で意義があると感じたので医療大でも事前訪問を検討して頂きたい。

・その他

2) 疑問に思ったこと、改善してほしいことなどの要望事項 2

- ・支援システムの(日報、週報などの)ダウンロードができなくなったため、プリントアウトした紙面として残すことができない。
各実習施設において採用されているインターネット環境に係わらず、支援システムの内容が以前のようにプリントアウトできるようになれば、ありがたい。

・今後の課題

- 1.ルーブリック評価及び8疾患の対応について施設間の差をどう対応するのか
- 2.大学とのコミュニケーション・連携の取り方
- 3.システムの改善について
- 4.学生の知識レベルなど質について

・最後に

各施設で起きたことなど情報を共有し、問題点・意見をもとに改善できる点は改善策を考え、より良い実習が実施できるよう努力しなければならない。

⇒機構・大学・薬局・病院での連携が不可欠

...今後もアンケートのご協力をお願い致します。